

冠基金の設立について

一定額以上のご寄附をいただける場合は、寄附者様の御芳名や会社名、想いなどを基金の名前として冠する「冠基金」を作ることができます。冠基金をご希望される場合は、基金事務局までお知らせください。

令和7年6月現在までの冠基金一覧

本庄照子基金

冠基金第一号として、令和4年度に「本庄照子基金」を設立いたしました。
協定校へ留学する学生への支援事業、障がいを持つ学生への支援事業、経済的に困窮する学業成績優秀な学生への奨学金を給付することを目的とした基金です。

ネットワンシステムズ奨学金基金

令和5年度より学生の修学支援に活用しております。
大学院進学を目指す学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的に困難な状況にあって勉学意欲が高い学生個人を対象に給付型の奨学金を支給することを目的とした基金です。

福大経済 恒久基金

令和6年度に設立いたしました。
本学の教育・学生支援事業の支援を目的とした基金です。

■ 寄附者の皆様からのメッセージ

私もかつて経済的な事情で学びをあきらめようとした事があります。
様々なご支援で再開することが出来、今は諦めなくて本当に良かったと思っています。
微力ですが、在学生の皆さんのお役に立てれば幸いです。（卒業生）

わか花は 侘ひしく老いて 枯れ逝くも 端名は残りて 花春迎へん（一般）

苦難の時こそ長期的・多面的・根本的に思考して前向きに共に頑張りましょう。
弊社は福島大学を応援し続けます。（企業）

本学では、教育・研究環境を整え、努力する学生を支援してまいりますので、今後とも本学へのご支援とご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄附のお申込みについては福島大学基金 WEB サイトをご覧ください。

福島大学基金 WEB サイト

<https://www.fukushima-u.ac.jp/donation/>



協定校へ留学する学生への支援

福島大学は世界各国の大学と学生交流の協定を締結しており、交換留学や国際交流プログラムを実施してきました。

令和6年度は、マクマスター大学（カナダ）の短期派遣プログラムを新たに企画した他、昨年度に引き続き、韓国、中国、ドイツ、オーストラリアへの短期派遣プログラム、長期派遣となる交換留学プログラムを実施しました。加えて、ゼミ単位での海外派遣実績も多数あり、本学の交流学生数は順調に拡大しつつあります。しかしながら昨今の円安・物価高等の影響により、各種留学プログラムに参加する学生の経済的負担は増加しており、留学自体を断念するケースも少なくありません。このような状況下において、福島大学基金からの奨学金支給は本学の学生が留学プログラムへの参加を決断するうえで大きな支えとなっています。

〈令和6年度支援実績〉

●交換留学派遣学生への奨学金支給		●短期プログラム参加学生への奨学金支給	
アメリカ（1年間×1名）	200,000 円	韓国（35,000 円×4名）	140,000 円
ドイツ（1年間×1名）	200,000 円	カナダ（40,000 円×9名）	360,000 円
ハンガリー（半年間×1名）	100,000 円	中国（30,000 円×15名）	450,000 円
		ドイツ（40,000 円×5名）	200,000 円
●海外調査等（ゼミ単位）		オーストラリア（35,000 円×2名）	70,000 円
台湾（10,000 円×13名）	130,000 円		
マレーシア（10,000 円×15名）	150,000 円		
		計	2,000,000 円



マレーシア国際イスラム大学での交流会の様子

障がいを持つ学生への支援

本学に在籍する継続的な支援を必要とする障がい学生に対し、支援を行う人材(学生サポーター)を派遣し、多様な障がい学生のニーズに対応できるよう提供可能な支援を拡充させることを目的としています。令和6年度は、聴覚障がい学生がゼミにおけるディスカッションの際に、複数の話者の話を聞くことが出来るよう、支援機器を購入しました。また、疾患等の理由により通学が困難な学生が安心して学びを継続できるよう、遠隔授業の体制整備を進めています。その一環として学生サポーターが遠隔授業の円滑な実施を支援する活動を行っており、当該活動に対し、謝礼金を支給しました。

奨学金の支給による支援

広く社会から受け入れた寄附を修学支援に活用することにより、経済的に困窮する本学学生の修学支援の充実に資することを目的としています。学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的に困難な状況にあって勉学意欲が高い学生個人を対象に給付型の奨学金を支給しています。

令和6年度は以下のとおり10名の学生に給付を行いました。

しのぶ育英奨学金基金	年間 600,000 円×8名	4,800,000 円
本庄照子基金	年間 600,000 円×2名	1,200,000 円
計	10名	6,000,000 円

奨学生の声

奨学金によるご支援を頂いたことで金銭面の負担が減ったため、これまで以上に勉学や研究活動に取り組むことができ、学会や成果報告会などで研究発表する機会をいただきました。今後は、これまでの経験をもとに大学院に進学し、地域に貢献できるような研究を続けていきたいです。

一般基金

■ これまでの受入累計（令和2年6月～令和6年3月末）

寄附件数 **2,050** 件 寄附金収入 **121,867,600** 円

■ 令和6年度受入（令和6年4月～令和7年3月末）

寄附件数 **518** 件 寄附金収入 **25,920,991** 円

● 内訳

教育・学生支援事業 21,013,056 円	研究推進事業 1,262,000 円	大学の発展・充実に資する事業 3,645,935 円
地域の再生復興を見据えながら、グローバル化が進展する社会で活躍できる「強い人材」の育成をめざし、学生が存分に勉学に励み、国際性を育み、社会的実践力を身につけることができるような教育環境を整備することを目的として、事業支援を行っています。	学術活動、地域交流活動及び学生を含めた国際交流活動などの学術振興の一層の進展を図るために、研究推進に関わる様々な事業へ助成を行っています。	本学の教育・研究・学生サービス等のより一層の充実に資することを目的とし、社会貢献及び連携事業、学内環境(施設設備を含む)整備等に関する事業に活用いたします。

特定基金

■ 令和6年度受入（令和6年4月～令和7年3月末）

福島大学しのぶ育英奨学金基金	寄附件数 115 件	寄附金収入 1,400,001 円
福島大学農学支援基金	寄附件数 32 件	寄附金収入 719,867 円
福島大学経済経営学類創立100周年記念教育支援基金	寄附件数 1 件	寄附金収入 20,000 円